第１１回 社員総会 議事録

１．総会の種類　臨時社員総会（オンライン会議）

２．日　　時　令和３年２月２２日　午後２時～午後４時４０分

３．場　　所　琉球大学　大学本部棟　第二会議室

４．総 社 員 数　１０名

５．出 席 社 員　琉球大学（代表理事：西田 睦）、
沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学（理事：金 永秀）、
沖縄女子短期大学（理事：平田 美紀）、
沖縄国際大学（理事：前津 榮健）、沖縄県立芸術大学（理事：波多野 泉）、
名桜大学（理事：砂川 昌範）、　沖縄県立看護大学（理事：嘉手苅英子）、
沖縄工業高等専門学校（理事：伊原 博隆）、
沖縄科学技術大学院大学（理事：グルース・ハインリッヒ・ピーター・ホースト）

６．欠 席 社 員　沖縄大学（理事：盛口 満）

７．列 席 者　顧　　問：瀬名波 榮喜
事務局長：満尾俊一
運営委員：仲里隆司、仲間末美、田代真紀、島袋常義、仲田哲二、渡久地寛、砂川一弥、仲里勉、金城邦光、東恩納こずえ
関係職員：牛窪潔 琉球大学副学長(地域連携担当)、本村真 子ども居場所学生ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｾﾝﾀｰ長、岡﨑威生ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ教育普及連絡会関係教員、スコグランド ウルフ OIST 研究科長、タカバヤシ ミサキ OIST 副研究科長、崎山英樹、金城まなみ、喜久里瑛、島袋健、植田聡、深沼千咲

８．議　　事

第１号議案　理事の選任について
第２号議案　大学コンソーシアム沖縄 賛助会員の入会について
第３号議案　大学コンソーシアム沖縄の規程整備について（案）
①大学コンソーシアム沖縄 会費に関する規程（案）
②大学コンソーシアム沖縄 寄附金取扱規程（案）
③大学コンソーシアム沖縄 文書取扱規程の一部改正（案）
第４号議案　令和２年度　事業報告について
①子どもの居場所学生ボランティアコーディネート事業（沖縄県委託事業）
②県民向け公開講座
③ＦＤ・ＳＤ事業（おきなわ数理・データサイエンス教育普及連絡会について ）
④県内大学入試説明会
第５号議案　大学コンソーシアム沖縄　法人活動（案）について
大学コンソーシアム沖縄　法人活動の新規提案について

第６号議案　その他

①地域連携プラットフォームについて

②とかしきボランティアスクールについて（案内）

②情報交換

９．開会並びに定足数確認

議長である西田代表理事から、本社員総会は定足数を満たし有効に成立していること及び新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、前回同様、オンラインにより会議を開催する旨報告があった後、開会宣言及び開会挨拶があり、議事審議に入った。

10．定款第１５条の規定による議長の氏名

一般社団法人大学コンソーシアム沖縄代表理事　西田　睦

11．議事経過の要領及びその結果

〇第１号議案　理事の選任について

議長から議案の提案があり、議長の指名により満尾事務局長から資料に基づき、沖縄県立看護大学学長の嘉手苅英子氏が本年３月３１日をもって学長の職を退任することに伴い、同日付けで当法人理事も退任することについての説明があった。

併せて、本年４月当初に当該大学の学長に就任予定の神里みどり氏を当法人の理事に就任（嘉手苅理事の任期の残存期間）いただくことについて提案説明があった。

定款第１７条第３項の規定に基づき、審議した結果、沖縄県立看護大学の学長に就任する予定の神里みどり氏を当法人の理事に選任することが全員異議なく承認された。

〇第２号議案　賛助会員の入会について

議長から議案の提案があり、議長の指名により満尾事務局長から資料に基づき、当法人の定款第５条第２項に定める賛助会員に以下の２団体から入会申込みがあったことについて説明があった。

①大学コンソーシアム沖縄 賛助会員入会（放送大学沖縄学習センター）

②大学コンソーシアム沖縄 賛助会員入会（岸本ファミリー個人慈善基金）

また、瀬名波顧問からは、定款には賛助会員が規定されており、本法人設立当初、地方公共団体へ入会を要請したが入会は実現せず、懸案のまま、定款が形骸化しつつあったため、今回、岸本ファミリー個人慈善基金の創設者である岸本氏へ賛助会員入会を呼びかけたところ、本法人の活動に賛同し、入会を申し込まれたもので、これが今後の賛助会員入会の呼び水になることを願っている旨の発言があった。

定款第６条の規定に基づき、審議した結果、放送大学沖縄学習センター及び岸本ファミリー個人慈善基金の大学コンソーシアム沖縄 賛助会員への入会が全員異議なく承認された。

○第３号議案　大学コンソーシアム沖縄の規程整備について（案）

議長から議案の提案があり、議長の指名により満尾事務局長から資料に基づき、当法人の規程整備（案）①～③の新規制定２件、改正１件について説明があった。

審議した結果、大学コンソーシアム沖縄 寄附金取扱規程（案）については、第６条第２項の「寄附の使途・目的が特定されていない寄附金については、」の後に「代表理事が」を加筆した上で、大学コンソーシアム沖縄 会費に関する規程（案）及び大学コンソーシアム沖縄 文書取扱規程の一部改正（案）と伴に承認された。

なお、大学コンソーシアム沖縄 会費に関する規程は令和３年２月２２日から、大学コンソーシアム沖縄 寄附金取扱規程及び大学コンソーシアム沖縄 文書取扱規程は、令和３年４月１日から施行することとなった。

①大学コンソーシアム沖縄 会費に関する規程（案）
②大学コンソーシアム沖縄 寄附金取扱規程（案）
③大学コンソーシアム沖縄 文書取扱規程の一部改正（案）

○第４号議案　令和２年度　事業報告について

議長から議案の提案があり、議長の指名により以下の者から資料に基づき、令和２年度における各事業について報告があった。

①子どもの居場所学生ボランティアコーディネート事業
　報告者：本村真（子どもの居場所学生ボランティアセンター長）
②県民向け公開講座
　報告者：島袋健（事務局）
③ＦＤ・ＳＤ事業
　報告者（ＦＤ）：岡﨑威生（おきなわ数理・データサイエンス教育普及連絡会）
　報告者（おきなわ数理・データサイエンス教育普及連絡会について）：同上
　報告者（ＳＤ）：島袋健（事務局）
④県内大学入試説明会
　報告者：島袋健（事務局）

審議の結果、本件について、全員異議なく承認された。

【理事からの意見等】
・県内大学入試説明会アンケートについて、参加した親子から、参考となる提案があり、今後も継続して実施してもらいたい。

○第５号議案　大学コンソーシアム沖縄　法人活動（案）について

議長から議案の提案があり、議長の指名により事務局（仲里）から資料に基づき、大学コンソーシアム沖縄　法人活動（案）及びに法人活動の新規提案について説明があった。

審議の結果、大学コンソーシアム沖縄法人活動（案）及び法人活動の新規提案であるSDGsへの取組みについては、提案のあった沖縄県のおきなわSDGsパートナーへの登録、沖縄SDGsプロジェクト（ＯＳＰ）との連携含め、SDGsに取り組む団体と広く連携することで、全員異議なく承認された。

【理事からの意見等】

・沖縄SDGsプロジェクト（ＯＳＰ）との連携が提案されているが、他にはSDGsに取り組む団体はないのか。公平性の点で懸念される。
・県内でSDGsの普及に積極的に取り組んでいるＯＳＰとの連携を提案しているが、ＯＳＰにも確認し、SDGsへの普及活動に取り組む団体と広く連携は可能だと思う。
・２０３０年までのSDGsへの取組みは重要。SDGsを学生へどう伝えていくか、教育プログラムも入れてほしい。

〇第６号議案　その他

①地域連携プラットフォームについて

議長から議案の提案があり、議長の指名により牛窪琉球大学副学長（地域連携担当）から資料に基づき、地域連携プラットフォームに関する説明があった。

地域連携プラットフォームについては、既に沖縄県経済同友会と意見交換を実施、更に３月には沖縄県と意見交換を行う予定であるとの発言があった。

【理事からの意見等】

・２、３年前に大学コンソーシアム沖縄として県へ高等教育機関の窓口の設置を要望したが、未だに県からの情報の発信は無い。この地域連携プラットフォームについては県にも重要な役割を果たしてもらいたい。３月の県との意見交換の際には、そのことを伝えてもらいたい。
・地域連携プラットフォームは、とても大きな課題で、地域の大きな取り組みになると思う。高等教育の実態を把握できていないし、どういう姿を目指しているのか見えない。多くの高校卒業者が県外へ出ていく、薬学部の育成機関の話もある。大学コンソーシアム沖縄の１１機関が足元の高等教育の実態、課題を把握する必要がある。

議長から沖縄県への高等教育機関の窓口設置については、前大城代表理事（琉球大学長）から前翁長県知事へ、また私、西田からも現玉城知事や赤嶺県議会議長へ伝えているところではあるが、トップへ話してもそれだけでは必ずしも組織として動かない感がある。地域連携プラットフォームについては、県が主体的に取り組んでもらえればと思うとの発言があった。

また、３月の沖縄県との地域連携プラットフォームの意見交換に当たっては、今の意見も踏まえ、「沖縄県における高等教育機関の窓口」や「地域連携プラットフォームにおける沖縄県の果たすべき役割」などについても議論できればとの発言があった。

さらに、高等教育としての課題の検討については、課題を頂き、具体的に考えを述べあっていければと思う。事務局とも相談したいとの発言があった。

②とかしきボランティアスクールについて

議長の指名により、事務局（仲里）から資料に基づき、案内があった。

③情報交換（情報共有）

議長から前回６月社員総会のフォローアップの情報共有として「大学コンソーシアム沖縄における情報共有の取組み」を事務局（島袋）から報告するとの発言があった。

事務局（島袋）から前回社員総会の情報交換の際、新型コロナ感染症への対応について加盟校間の情報共有の必要があるとの意見のあったことを踏まえ、特に必要とされる「教務・学務系情報共有ネットワーク」を立ち上げ、Dropbox アプリを活用し、情報共有を図ったとの報告があった。また、大学コンソーシアム沖縄のホームページに加盟校限定のページを開設したので、運営委員会運営委員からＩＤ、パスワードを確認の上、定款、規則、総会や運営委員会の資料、議事録、教務・学務系情報共有事項など、情報共有に活用いただくよう報告があった。

以上をもって、社員総会の全議案の審議を終了し、前津榮健副代表理事から閉会の挨拶を行った後、議長は閉会を宣し散会した。

上記議決を明確にするため、本議事録を作成し、議長及び出席理事が記名押印する。

令和３年　　月　　日

一般社団法人大学コンソーシアム沖縄　第１１回社員総会

議　長　　西　田　睦　　印

理　事　　金　永　秀　　印

理　事　　平 田　美 紀　　印

理　事　　前 津　榮 健　　印

理　事　　波 多 野　泉　　印

理　事　　砂　川 昌 範　　印

理　事　　嘉 手 苅　英 子　　印

理　事　　伊 原　博 隆　　印

理　事　　グルース・ハインリッヒ・ピーター・ホースト　印

（議事録作成者）
運営委員（琉球大学地域連携推進課長）　仲　里　隆　司